

1945～2005

昭和 20 年

平成 17 年

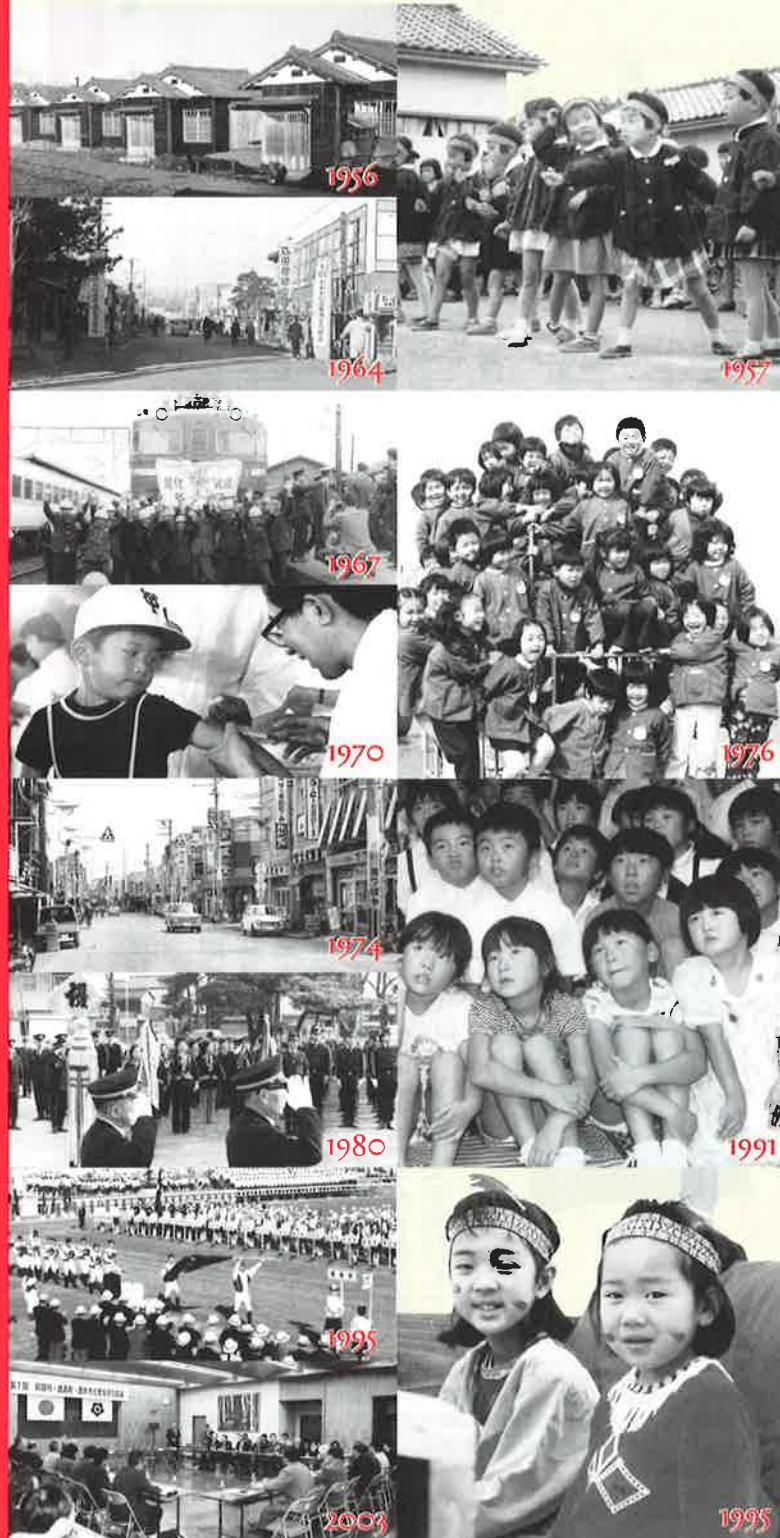
原町市史 第7巻 資料編V 現代

◆編集・発行

南相馬市

平成 27 年 3 月刊

B5 判 768 ページ



あなたがこどものころ、
みたこと聞いたこと。
きっとあります。

◆頒布価格 『原町市史』第7巻 資料編V「現代」 3,500円

◆特典 *平成27年6月30日までは10%引き(3,150円)。

*市史全巻(全11巻)を購入する方は20%引き(2,800円)になります。

*全巻購入については随時受け付けています。

◆お申し込み方法 電話、はがき、Eメール等により、原町市史取扱い書店、もしくは文化財課市史編さん係(南相馬市博物館内)にお申し込みください。

◆配本 原町市史取扱い書店からの配本になります。送付を希望される方は、送料等実費負担となります。

◆『原町市史』取扱い書店

南相馬市 おおうち書店 原町区三島町1-29 0244-22-4403
文芸堂書店 桜井町店 原町区桜井町1-123 0244-24-4711

相馬市 広文堂書店 相馬市中村字田町52 0244-35-3138
丁子屋書店 相馬市中村字大町34 0244-35-2846
文芸堂書店相馬店 相馬市黒木字源多田7 0244-37-4711

お問い合わせ

南相馬市教育委員会文化財課市史編さん係

福島県南相馬市原町区牛来字出口194(南相馬市博物館内)

☎975-0051 ☎0244-25-7300 fax0244-24-6933

E-mail : shishihensan@city.minamisoma.lg.jp



総説

- 一、本巻の編集方針と構成
- 二、現代の原町地域の概況
- 三、東日本大震災を経て

序章 占領下のころ

第一節 戦後の再出発

- 一、終戦
- 二、終戦直後の生活事情と市民生活の復活
- 三、緊急開拓から戦後農業の体制へ

第二節 プランゲ文庫・GHQ/SCAP文書に

一、プランゲ文庫

二、GHQ/SCAP文書

第一章 政治と行政

第一節 昭和の大合併から平成の大合併まで

- 一、新憲法下、新制度の開始
- 二、「原町市」の誕生—昭和の大合併—
- 三、まちづくり構想の変遷
- 四、原町市から南相馬市へ—平成の大合併—

第二章 産業と経済

第一節 農林水産業と商工業の変遷

- 一、原町地域の産業構造と労働力
- 二、農林水産業の振興と整備
- 三、移りゆく商工業活動と活性化事業

第三章 みる郷土

一、プランゲ文庫

二、GHQ/SCAP文書

第四章 プランゲ文庫

統計
7 6 5 4 3 2 1
世帯数と人口（原町市合併前・合併後）
財政（原町および原町市歳入歳出決算、
村歳入歳出決算、石神村歳入歳出決算）
土地利用状況
常磐線設置駅営業状況
ラジオおよびテレビ受信契約数
原町局電信電話普及状況
用途別車種別自動車台数調

太田

第三章 生活と文化

- 一、市民が生きる社会
- 二、この地に根ざした組織と人びと
- 三、自然環境の変化と災害への備え
- 三、地域の課題解決への試みと国際交流

第一節 地域の文化と暮らしの変容

- 一、文化の継承と創造
- 二、暮らしに求める利便性と多様性
- 三、四季を彩る行事
- 四、信仰と儀礼—伝統と現代—

第二節 野馬追

- 一、馬事スポーツの祭典へ
- 二、文化財としての野馬追

第五章 教育

第一節 義務教育

- 一、戦後の再出発と六・三制
- 二、高度成長期における原町市教育行政の展開
と学校教育の拡充
- 三、教育改革と多様化の時代

第二節 高等学校・高等教育機関のあゆみ

- 一、新制高等学校の出発
- 二、高等学校の拡充

第三節 幼児教育・社会教育

- 一、幼児教育のあゆみ
- 二、社会教育施設の設置



- 一、交通の整備促進
- 二、情報・通信の普及と整備
- 三、観光・金融

巻	編別	価格	刊行年度
第4巻	資料編II	古代・中世	5,000円 平成14年
第10巻	特別編III	野馬追	6,000円 平成15年
第8巻	特別編I	自然	6,000円 平成16年
第9巻	特別編II	民俗	5,000円 平成17年
第5巻	資料編III	近世	5,000円 平成18年
第11巻	特別編IV	旧町村史	5,000円 平成19年
第3巻	資料編I	考古	6,000円 平成22年
第6巻	資料編IV	近代	5,000円 平成24年

* 残部僅少の巻もあります。価格は送料別です。お申し込みは市史編さん係まで。

原町市（現原町区）は、平成15年に市制50周年を迎えることを記念して、平成9年度から『原町市史』の編さんを開始しました。平成18年1月に原町市は小高町・鹿島町と合併して南相馬市となりましたが、南相馬市になつてからも市史編さんは、たゆまず継続してまいりました。平成14年度から刊行を開始した『原町市史』は、今回で9巻目となります。『原町市史』全11巻の完結をめざし、正確で親しみやすい市史を刊行してまいります。